

令和6年度湘南大庭地区郷土づくり推進会議  
〈全体会議（第17回定例会）議事録〉

日 時：2024年（令和6年）12月3日（火）19:00～21:15

場 所：湘南大庭市民センター 2階 第1談話室

出席：11名

欠席：2名（石塚委員、竹内委員）

（協力員）0名

（事務局）湘南大庭市民センター 大塚センター長、入澤主幹、杉浦

---

1 前回の確認

令和6年度第16回定例会議事録（案）〈資料1〉

2 各部会からの報告事項

（1）デジタル推進部会から〈資料2〉

藤沢市デジタル推進室による、地域団体向けのデジタル出張講座の申込を行った。地域活動でのスマホやパソコンの使い方を学ぶ講座であり、講座内容は、「Canvaによるチラシの作成講座」。

20名程度が上限の講座であり、10名前後の予定で申込を行った。

日時は、2025年1月18日（土）10時から12時までの予定。

場所は、湘南大庭市民センター第2談話室で実施予定。講師は電創。

参加する委員や事務局職員は、パソコンを持参すること。

12月13日、デジタル推進部会を実施予定。

（2）大庭城跡部会から〈資料3～5〉

資料3のとおり、友の会の入会案内（案）を作成した。

案内の記載内容として、健康づくり、趣味（大庭城址に咲く花の観察等）を入れたい。

資料4の湘南ライフタウン活性化指針は、次第のその他で後ほど触れたい。

大庭城跡を活かしたまちづくりのため、資料5を作成。

市政運営の総合指針に紐づいた都市マスタープランや地域福祉計画、文化財保存活用地域計画等、複数のプラン（計画）の中で、今後の事業を進めていきたい。

市政運営の総合指針2028は、4年後を見据えた長期展望であり、同指標2024にない「基本目標2：文化とスポーツを盛んにする」に注目。

旧藤沢宿や江の島、大庭城跡等地域に根ざした数多くの文化財があり、この

ような歴史、文化、景観等の文化財を市民の貴重な財産として、次代につなぐ方向性を示し、環境を整える。

文化財保存活用地域計画は、文化財の保存と活用に関する総合的な計画であり、中長期的に方向性を示すマスタープランと、短期的に具体的な事業を示すアクションプランを基に、大庭城跡を活かした地域のまちづくりを進めたいと考える。

大庭城跡を広く周知するための事業等、郷土づくり推進会議各部会の事業計画に基づき、事務局からまちづくり事業費の予算要求を行う。

大庭城址公園は、公園課の所管でありながら、指定管理者が管理運営を担う体制に問題あり。現状、文化財の保存や活用に予算措置がなされず、設置看板の老朽化等が目立つ。大庭城址公園の現状把握や必要な予算措置等、公園課と郷土歴史課の協働した取り組みに期待する。

12月10日にドローン撮影を実施予定。主に、午前中に撮影を行う予定にしているが、進行状況により午後まで撮影を行う可能性あり。

竹等の草木が繁茂した場所あり、11月29日に伐採を実施。

子どもたちが、学校で地域の環境や文化財等を学ぶ機会があり、子どもを対象にしたガイドを企画したい。シンポジウムで、学校の先生や地域住民に説明したい。

また、河津桜を見ながら大庭城跡を学ぶ、一般の地域住民を対象にガイドツアーを企画し、ガイドクラブへの支払は参加者からの実費としたい。

### (3) かるた部会から〈資料6〉

配付の資料6は、12月5日の部会で使用する予定のレジメ。

部会までには、修正箇所が生じる可能性あり。

前回の定例会で二次選定の案内を行ったが、二次選定者の方から徐々に提出いただき、採点表が集まりつつある。

現在、11名の二次選定者から採点表を回収済み。

二次選定者から、子どもだけではなく、大人が支援しないと良いものにならない等、様々な意見をいただくこともあり、今後の検討材料にしたい。

かるたの箱に入れる小冊子の構成は、善行かるたを参考に検討を進めた。

明治や辻堂のかるたのように、B4サイズのマップ形式の制作は、小冊子よりも制作費が高額になること等の理由から、難しいと判断。

### (4) セカンドライフ部会から

12月7日(土)にドローン講座を実施予定。

11月9日に実施した前回の麻雀講座では、市民図書館の職員が参加しており、その方から「図書館のイベントでも麻雀講座を企画してみたい」との意見があった。

### (5) 子ども居場所づくり部会から

11月24日に開催した湘南西部団地で実施した防災・団地まつりに、7人の子どもが来てくれた。

缶バッジを上手に作製できなかったため完成品が足りず、子どもたち全員に配布できなかった。事前の練習不足により、失敗作が多かった。

缶バッジの製作等、地域の大人や子どもたちが手伝ってくれた。

子どもたちは、楽しんでくれたように思う。

公民館の事業として、缶バッジの製作教室を開催しても面白いと思う。

子どものための事業として、滝の沢中学校校長からの提案のような、子どもたちの見守りや声掛け運動の要望に応える活動をしたいが、安易に子どもたちに声かけを行うことは難しい。「声を掛けられた」と通報の懸念あり、腕章を着用する等、声掛けの方法を今後検討していきたい。

見守りや声掛けの仕方は、慎重に検討する必要あり。

### (6) ゴルフ部会から

明日(12月4日)、芙蓉カントリークラブに連絡し、2月又は3月中のゴルフコンペの実施に向けて予約を行い、日程を押さえる予定。

過去のゴルフコンペに参加し、LINEの連絡先を交換した方からは、市の予算に頼らず、参加費からトロフィー等の賞品代を捻出することに賛同する意見が多い。

## 3 その他

### (1) 今後の地域活性化協議会のあり方〈資料7・8〉

事務局から説明。

資料7の表紙は、湘南ライフタウンをイメージした絵の記載。

基本理念「住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭」。

めざすべき将来像は、「共生」、「生彩」、「発信」。

「共生」の取組方針は、大きく次の5点。

①色々な人々や世代の交流、②コミュニティづくり、③持続可能なまちづくり、④地域全体での子どもの見守りと教育、⑤デジタルによるつながり。

「生彩」の取組方針は、大きく次の3点。

①楽しみの創出、②自然の保護と活用、③賑わいの創出。

「発信」の取組方針は、大きく次の3点。

①郷土愛の醸成、②まちの魅力と情報の発信、③まちの魅力と情報の効果的な発信。

資料8の内容を説明。

湘南大庭地域活性化協議会は地域住民が主体となり、今年度末で役割が終了予定。

今後の組織体を検討した結果、3パターンのうち②に該当する郷土づくり推進会議と統合し、愛称を「まちづくり会議・♡VER（オーバ）湘南」とすることを提案したい。

地域活性化協議会が郷土づくり推進会議に合流し、作成した指針やマスタープランの達成のため、事業を実施する。

この案の受け入れに対し、郷土づくり推進会議の委員の立場から、何か意見があれば述べてほしい。

郷土づくり推進会議との統合には、反対意見は特段なく、近い志を持つ委員が増え、郷土づくり推進会議が活性化するのであれば良いとする意見が出された。

1月の郷土づくり推進会議に出席してもらい、地域活性化協議会の委員から活性化指針の概要を説明してもらうことを予定。

3月の郷土づくり推進会議の住民向けに実施する全体集会後に、地域活性化協議会の委員から活性化指針を説明してもらい、最後に2つの会議体が来年度（令和7年度）から統合することを伝える方向としたい。

## （2）令和6年度予算執行状況〈資料9〉

資料9のとおり、令和6年度予算執行状況表を作成した。

表の左側の欄に予算額、右側の薄く着色した欄に実績額、一番右の欄には、予算残額を示す。

ウォークラリーの謝礼としていた予算を、セカンドライフ部会で実施する講座の報償費としていきたい。

消耗品費の予算残額は、ジャンボかるたの収納袋の購入費に充てたい。

印刷製本費については、今後、かるた製作費が確定。

委員から、今後の支払予定額が入力されておらず、表が見にくいとの意見があり、備考欄等で予定額を示す等、今後改善を行う。

## （3）全体集会

2025年3月20日（木・祝）と同年3月22日（土）について、全体集会の予定日としたい。

⇒両日ともに、本市民センターの小ホールを仮予約する。

（時間帯：9時～17時）

以 上

【次回定例会】令和6年12月17日（火）午後7時～  
湘南大庭市民センター2階 第1談話室